

2017年（平成29年）12月21日

## 横浜市の「未来の家プロジェクト」に参画 IoT機器やセンサーで快適で健康な暮らしをサポート 環境未来都市の一環として2017年12月から実証実験開始

相鉄グループ

相鉄グループでは、2017年（平成29年）12月から横浜市が立ち上げた“I・TOP横浜 ※1”内の「未来の家プロジェクト」に共同参画し、相鉄線 二俣川駅最寄りのそうてつローゼンミニさちが丘店（横浜市旭区）の敷地内の空き区画を活用して実証実験を開始します。

同プロジェクトは、横浜市が市内の住宅メーカーやIoT（モノのインターネット）機器メーカーなどと協力し、IoT家電やセンサーなどを実装した「IoTスマートホーム™」により快適で健康な暮らしをサポートする未来の家の実現に向けて実証実験を行うものです。将来的には、居住者の生活状態を家が把握し、AI（人工知能）を通じて居住者の健康状態に合わせた快適な室内環境へ自動調節するなど、未来の家の実現を目指すプロジェクトです。このプロジェクトはこれまで横浜市、(株)NTTドコモ（本社：東京都千代田区、社長：吉澤 和弘）、and factory(株)（本社：東京都目黒区、CEO：小原崇幹）の三者が検討・推進しており、この度、相鉄グループが実証実験の場を提供する形で協力します。

従来、健康管理に関するバイタルデータや食事などのデータは、ユーザーがそれぞれのアプリケーションで個別に管理する必要があり、継続利用されにくいという課題がありました。「IoTスマートホーム™」は、複数のデータをクラウド上に収集し、スマートフォンなどの一つの管理画面で可視化されるため、居住者は手軽に生活状態を把握できます。さらに、居住者はIoT家電などを一括で管理できるアプリケーションを用いて、手軽にIoT家電などの操作が可能になります。

横浜市と相鉄グループは“相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市”「誰もが住みたい、住みたいと思える持続可能なまちづくり」に取り組んでいます。今後も沿線の魅力や暮らしやすさを高める取り組みを関係者と一体となって実施してまいります。概要は、別紙の通りです。



「IoTスマートホーム™」のイメージ

## 「IoTスマートホーム™」の生活イメージ例



睡眠状況を可視化

ベッドに設置されているセンサーで、睡眠時間、睡眠中の覚醒回数や睡眠時の活動量などが計測され、睡眠の質をチェック



朝起きて洗面台へ

前日分の体重、摂取カロリー・消費カロリー、睡眠データと、洗面台の前に埋め込まれた体重計に乗ると現在の体重がリアルタイムにスマートミラーに表示



ダイニングテーブルで食事

食事するテーブルの上にスマートフォンを置き、食事を撮影。撮影された食事データが自動解析され、メニューを特定し、摂取カロリーや栄養素をアプリに表示



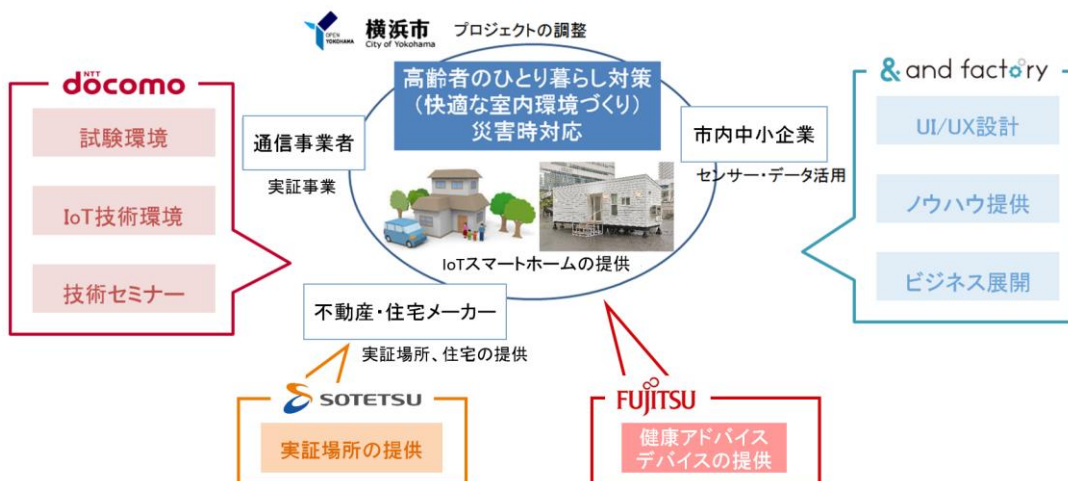
リビングスペースでリラックス

ソファーに座っているとその時のストレス状態を計測。また、アプリからリモコン操作でTVのチャンネルを変え、エアコンの温度も調整。気分に合わせて照明を好きな色に調光してリラックス空間を演出



### 未来の家プロジェクト

～AI、IoTを通じて快適で健康な暮らしをサポート～



未来の家プロジェクトウェブサイト

<http://mirainoie-project.jp/>

※1 「IoT TOP 横浜」とは、横浜市が2017年（平成29年）4月に立ち上げた横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等を活用したビジネス創出に向けた交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等の場となる「IoTオープンイノベーション・パートナーズ（IoT TOP 横浜）」のことです。